

1 事業概要

事務事業名		環境モデル都市行動計画進行管理事業		課名	環境モデル都市推進課	事業No.	152
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H21	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる			
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21'いいだ環境プラン）			
				第2次飯田市環境モデル都市行動計画			
法令・例規等			飯田市環境基本条例				
事業目的		対象	市民・事業者				
		意図	市民（地域団体）が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む				

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
		1 地域環境権条例に基づいて、再生エネルギー事業によって地域課題を解決しようとする地域団体の活用事業を審査するため、飯田市再生可能エネルギー導入審査会を実施しました。		飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会運営			
	2 中部環境先進5市会議、環境首都創造フォーラム、環境自治体会議、イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）等へ参加し、環境モデル都市として先進的取組みの水平展開を行いました。		政策支援訴求、関係会議での協議				122
	3 環境政策を専用ホームページや視察等の受け入れを通じて全国に発信しました。		関係市町村や団体との連携にかかる費用				961
	4 市域のCO2排出調査により進行管理を行いました。		第3次環境モデル都市行動計画事務費				102
			適応策の情報収集にかかる費用				4
			出張にかかる経費				55
			その他の経費				0
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度
	再生エネルギー導入支援審査会での指導・助言	回	2	2	4		
	環境先進自治体等との協議回数	回	1	3	2		
30年度決算(千円)	予算額	2,232	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	1,569	(そ) ふるさと寄附金				
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	1,000				
一般財源	569						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	1	2,232	1,569	環境モデル都市行動計画進行管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		地域環境権条例に基づいて伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業および下久堅ふれあい交流館太陽光発電事業の条例認定を行いました。今後も地域課題を解決しようとする地域団体の支援を続けていきます。再生エネルギーを取り巻く環境の変化、FIT制度（固定価格買取制度）の価格低下により、太陽光発電事業の優位性が困難となってきています。							
上記の課題解決のための有効策		FIT制度（固定価格買取制度）の価格低下により、事業性の確保が困難となってきている実情も踏まえ、買取価格の低下が少ない水力や木質バイオマスエネルギーでの地域環境権条例を行使した活用事業の事例を支援していきます。							
次年度に向けての取り組み		環境モデル都市の取り組みを引き続き発信しながら、地域環境権条例事業の市民啓発と組成支援を行います。							